磐城日日

発行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町渚廻51
電話代表387番
振替仙台31,355番
編集人発行人 長瀬芳郎

無免許で乗れる
自轉車補助エンヂン
ホンダのカブ號
販賣店 宮下商会
小名浜町

教育委員選出の泉、鹿島の定例村會

泉は阿部、鹿島箱崎氏に決定

鹿島村議会は従來奇数月に定例村会を開いていたが、條例を改正して偶数月に開くことになり二十三日午前十時より役場会議室に於いて志賀議長ほか十四議員（長瀬一郎氏欠席）に八代村長、三島助役ら出席して定例村会を開催した

先ず村会開催月を偶数月に改める條例改正を協議し、議会代表の教育委員選出に入つたが議長一任となり、志賀議長は箱崎憲一議員を推薦決定した

また泉村十月村会は廿二日午前九時より役場会議室に於いて、吉田勝記、齋藤鉄市部、藤井慶治、吉田泉彌、吉川伊作夫の五議員欠席のもとに開き下川保育所建築の経過報告後議事に入り、議会代表の教育委員選出を協議した結果阿部東郷（現教育委員長）議員が満場一致の推薦により決定した

鈴木署長宅のお目出度

小名浜地區署長警視鈴木龍之助氏令息龍郎さんは縣議小野義一氏夫妻の媒酌により東京小關八重子さんと婚約調い、二十三日小名浜町[illegible]八莊に於て地區署管下三町二村の有志を招待し目出度く華燭の典を擧げた、新郎龍郎氏は本年二十七才で平税務署に勤務されている

簿記講習會開く

小名浜商工会主催

社團法人小名浜商工会では仙台國税局の後援で來る十一月十一日より二十日までの十日間毎日午後六時より全町公民館に於て簿記講習会を開く、講師には仙台國税局の依頼によつて計理及び税理士渡邊淸匡氏が当ることになつており青色申告者及びその希望者を對照として行われる

なお平税務署長及び直税課長などの税政方針課税の態度についての説明のほか業種別の意見交換も計画されており一般及び各業者も進んで受講されるよう商工会では希んでいる、申込締切は十一月五日である

これについて講師渡邊氏は「商工業者は今後簿記の知識が絶對必要である」と次の通り語つた

今度の講習会の特色は特に業者にとつて必要な簿記についてであり從來記帳すると云うとは何か不安な氣持でいるようであるが記帳したからと云つて絶對に税金が多くかかると云うことはない

日々の記録を數字的に表すことによつて中小商工業者の悩みの種である金詰りの打解、合理的經營の指針としても必要である商工業者は今後簿記の知識がないと色々困ることがありますからぜひ受講されるよう希望します

北洋獨航船の勘定今昔話 ⑥

今田正美

漁獲予定と費用

さて新らたに拓けた北洋獨航船漁業の企業採算はどうなるか、何處で何を幾ら獲るか、それが幾らに賣れるか、との一連の問題をどう解いて事業計畫を樹てるかゞ差当つて自分の任務となつた、一月の末、往年の函館在住業者を糾合し組合設立についての趣意書を作つたり、規約案を書いたり、創立總會の準備を進めながら獨航船の經濟問題が頭を占領して行つた

一体操業海域として何處が指定されるのかゞ判明しなければ、計畫の根本が定まらず、従つて經濟的な仕事が出來るか否かゞ判明しないのに、われもわれもと北洋を目指す希望者が多くなつたのは奇妙であつた、往年の母船式漁業が操業した海域に近く、また北千島南方海面で拿捕などの危險を避け得る海域など想定して往年の盛況を夢みての心だつたのであろうし、また貴重な鮭、鱒魚族の豊富な北洋漁業というものの魅力が然らしめたものと思われた

何處が操業海域となるか当局の意圖が示されたのは出漁船数が定まり、船名も凡そ決定しての出漁も近ずいてから發表になつたというのも妙なことであつた、一月末から二月にかけて業者が話題としていたことは、五月中旬アリユーシヤン列島西端附近から操業を開始して、コマンドルスキー島南方に至り、それから往年の母船式漁業が操業した海面に沿つて南下、五月六月を過ごし七月には北千島南方海域で操業する、外國領海侵犯とか拿捕されるようなトラブルを避けて安全公算の多い沖合漁業となろうから、戰前沖取りの平均五萬尾北千島の平均十万尾合計十五万尾は到底望み難いとしてもその約半数の七万尾近くは獲れる見込みがたつのではあるまいかとの觀測が有力であつた

過去の記録から魚種別と重量を出すと基本計數が次のようになつて一隻当り六九二〇〇尾、重量四〇二九四貫というのが一應の目安となつた

紅鮭…二四二〇〇尾一尾の重量六二〇匁、計一五〇〇〇貫

白鮭…二〇五〇〇尾、仝六六〇匁、計一三五三〇貫

鱒…二四五〇〇尾、仝四八〇匁、計一一七六〇貫

合計六九二〇〇尾で四〇二九四貫となる

この漁獲物全部を鹽藏にすると、商品の重量が六割となつて二四一八〇貫 假りに貫当り平均鮭五〇〇円、鱒四〇〇円に賣れると賣上金額一一三八万円、賣上額のうち一割が鹽代、函代、積取運賃とみて差引一〇二四万余圓が獨航船經費つまり漁撈費と、母船經費つまり加工費を賄う額となることの凡そのアウト・ラインが促えられるのであるがさて獨航船經費はどの位かゝるか

…△…◎…▽…

愛の金庫の申込み待つ

小名浜町厚生課

社会福祉増進と未亡人の更生助長のために開設された「愛の金庫」縣内貸出總額壱千萬円増枠による第二回貸付が實施される、貸付對象者は

▼社會福祉施設運營資金

▼母子世帯更生資金 同奨学資金

▼身体障害者更生資金

で貸付申請書は二十七年十月末日迄に役場内更生課に提出すればよい

申込みの締切が迫つているので、早く該當者は申込されるようと係員は待つている

申込手續等に關しては役場更生課に行けば親切丁寧に指導してくれる筈、現在まだ〳〵金が余つており、一人三萬圓まで個人の場合は借受けられる

造林補助の役員會

泉村の森林組合

泉村森林組合では二十三日午後一時より今村役場会議室に於て二十七年度造林地調査及補助などの次の事項について役員会を開き協議した

一、二十七年度造林地調査及び補助について

二、二十六年度造林地國營火災保險契約成立について

三、組合員脱退届出提出報告

四、二十八年度指定造林の予定調査

五、第八県森林經營指導員使用自轉車購入費寄附金について

六、組合出資金納入の一部報告

なお二十七年度の造林面積は一般は十三町三反（昨年度八町）団体が六町五反計十九町八反となつており補助額は十九万八千圓である

十月中旬のサンマ水揚

小名浜港におけるサンマの水揚も最近は益々活發になり十月に入つてからは約七十万貫を突破して近年にないサンマ景氣を提出して濱の加工場は連日轉手古舞の有樣である

縣水産試験場の發表によると十月中旬における水揚高は四十七万九千三十五貫で昨年に比較して四倍強にのぼる漁獲をあげているとれを一隻當り平均にみると昨年は二千十一貫と云う低調であつたが今年は五千三百八十七貫となつている

なお十月中旬に於ける水揚の最高は十八日の十万三千貫（十七隻）で最低は十二日の一万六千九十二貫（四隻）であり、平均して約四万七千九百貫となる、また小名浜港に水揚した縣外の廻船は四十六隻にのぼり、次が地元船の三十九隻、其の他縣内船四隻となつており大型船が比較的多い

BS八隊でハイキング

内郷町のボーイスカウト石城第八隊ではこの程松田隊長引率のもとに隊員約二十名が銀輪を連ねて秋の二ツ箭山へ自轉車ハイキングを行つた、午前七時出発平より赤井を経て紅葉の二ツ箭山に至り飯盆飲さんの訓練を行い樂しい一日を過ごして午後四時歸町した

天氣豫報 24

【本日】北西の風日中一時南よりの風となり・晴れたり曇つたりの天氣となりましよう

【海上】おだやかなほうです

魚菜市況 23

【小名浜中央青果市場】卵十三～一四、五白菜一〇～四〇大根七～三七甘諸二八～三九人蔘四六～六〇里芋四六～六〇葱二一～四〇玉葱四五～六〇胡瓜三〇～一〇〇牛蒡五〇～七〇

【小名浜魚市場】いか四三〇～四四〇さんま五〇～七五

—郷土の新聞— 磐城日々

期末決算 謝恩大賣出し
10月20日—30日まで
実用衣料メリヤス等最安値にて大量提供

おつとめ品の一例

綿格子ネル	1ヤール	85円
上等綿向ネル	1ヤール	80円
綿フトン皮	1反	215円より
綿裏地	1反	235円
ヤール巾天竺	1ヤール	68円
上等キヤラコ	1ヤール	72円
裏毛大人シヤツ	1枚	250円より
子供メリヤスシヤツ	1枚	85円

専門店会のチケット御利用下さい

小名濱 越 藤越

宮田 ノザワ ダグラス 榮日舎 の自轉車代理店
本店 吉田屋商會 小名浜町第二小前 電話八九番
出張所 小名浜高等学校前

御知らせ
今回自轉車界の王者宮田のギヤエム號を当地の代理店として二十日より販賣致しました御用命の際は是非御引立の程を御願い申上ます
五大メーカー宮田のギヤエム號

譲る
最新の化学を應用し最高の性能を誇る飲料水製造機壹式……希望者は当社へ御来談下さい
姓名在者⑩

経費をかけずに良い品安く
専門店会チケット御利用下さい

御子様へ御菓子
動物ヨーチエン 百匁60円
ビスケット 百匁50円

学生さんへ
上質ノート 16枚 5円
上質大學ノート 15円より
野球帽 55円より110円

御嬢さん奥様へ
夜具地 反 270円より
白牛地ヤール 55円より
化粧品 柳屋 メヌマ ジユジユ ビビオ 80円
花王洗濯石鹸徳用型 10円

御勤めの皆様へ
純毛セーター 850円
ビロード黒婦人靴 590円
男女雨靴 530円より各種
純毛メリヤス 1500円

小名浜第二小學校前
皆様の店 平マーケット
電話297番

運輸省特別認承撥第684号 (第三種郵便物認可)

磐 城 日 日

昭和27年(1952)10月24日 金曜日 第662號

背戸峨廊の秋

鳩の巣 牧島如鳩

三連瀧まで來ると此の奥は猿峨廊となる、人の足では行くことが出來ない高く切り立つて聳ゆる花剛岩の斷崖である

三連瀧の有る所は谷が開けて廣場が有る、凡ての諸樹は美枝を競うて群生している、そこには大小の奇岩が庭石の如くに幾つも置かれてある

これは全く本当の自然の置き方で、如何なる名庭園師と云えども及びもつかない

……天の川を造つたのは誰か？

星の配列を指揮しているのは誰か？そして今この石の配置を考えた者は誰か？と自問自答せざるを得なくなる

こゝに長方形の大岩がある私は之を「ねはん岩」と名づけた、此の上に釋尊の如く右手枕に横臥し目を細くして三連滝を眺むる時は、過去、現在、未來の世界が、三連一系と滝壺に藏めらるゝのを覺ろ、三連滝の名もたしかその邊から出たものと思う

もしこの世に極樂あり淨土ありとせば、こゝはまさに夫れである

この「涅はん岩」に身を横たえた私は

このところこれ淨土なり

ねはん岩

そして伜たちに「若し俺が死んだら骨を此の岩の側に埋めるようにせよ」と、時に伜が口吟して、「幽谷より出でて大石の上に横わり美溪の大池に圍まれて三連滝に對す、すでに俗界を脱し將に淸境に入らんとす、見聞觸知する所皆なこれ菩提なり」

善哉、善哉、四邊淸寂として唯だ滝の音のみ聞ゆ時たま美くしい餘音を残して鳥靜かに空に向つて飛ぶ、かりようびんがの鳥ではなかつたか？

またとゝは溪流の澱があつて、周圍の景を寫して居る、三蓮の溪池と名をつけたい、紅、紫、白、の色を持つ故である

こゝで溪谷も最後である

我らは記念の茶席を石の上に設けた、……

溪間石上開茶籠、
汲流沸之以楓葉、
時有仙山是名樂、
初立一服饌先生。

注して曰く茶籠と仙山の茶碗とは淸風林磁庵先生より贈られしもの、常に我これを溪に携う

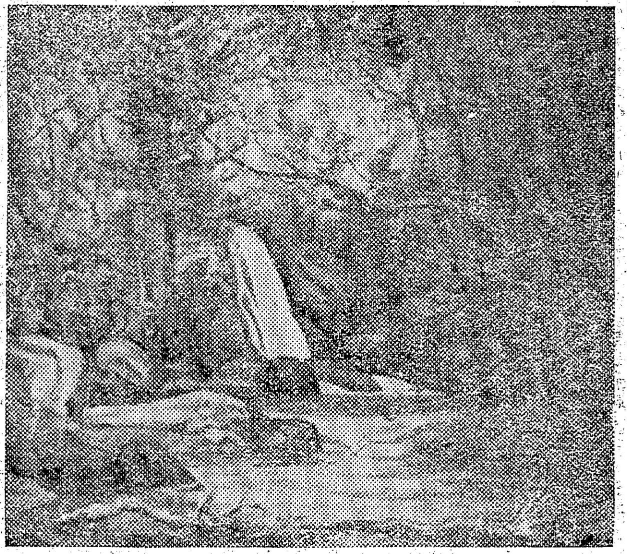
いつまでも
名残りはつきず 背戸峨廊

紅葉と溪流の美に打たれて、たゞ茫然としては居られない、そこで、一汽車後らすことにして油繪十号を物にした

圖はそれで、画面の左方にある四角の岩がねはん岩の一隅である

其の向ふに見ゆる樅木の大木、其の下から歸路コースが始まる、歩行は樂で、展望台までは僅かである

第九圖



三連滝及び
——三連の地溪——
東京 藤掛氏藏

一市三町のOB戰
關內杯爭奪野球
二十六日小名濱一中校庭

關內杯爭奪OB(四十才以上)野球大会は從來平市と湯本町に於て行われてきたが、新らたに小名浜町と内郷町が加わり來る二十六日午前九時より小名浜第一中學校グラウンドに於いて行う

當日は長瀬小名浜町会議長の開會の辭にはじまり優勝杯の返還式、水野小名浜町長の挨拶、關內正一、小野義、両氏の祝辭藤田審判長の注意があつて試合に入るが、試合は七回戰でトーナメントにより行うも一回戰の敗者戰を行うことになつており、各チーム共に二試合を行うことになる、また試合球は健康のAを使用する

今回初出場する小名浜町OBチームはかつてオール小名浜として縣大会に出場して榮えの優勝をなしとげ強豪小名浜の名を縣下にとどろかした當時の選手を中心とした四十才以上の野球愛好者により今春六月小名浜町OBクラブを結成したもので會長は水野町長、副會長長瀬町会議長、全木田教育委員長であり幹事は鈴木孝雄、門馬一、加藤実、馬上達三、馬上起世治、会計坪内清の諸氏である

また監督は加美山美雄氏主將高石照雄氏で部員は十八名、当日のスターテングメンバーは次の通り

內藤取石木峯川馬上
坪加香高鈴小綠門馬
376251849

小名浜の体育祭
各部の行事日程

去る十一月三日文化の日に全町擧げて行われる小名町の体育祭行事については各部とともに競技内容を立案しているが今日までに決定したものは次の通り

▽柔道＝二日午後十二時半もり小名濱第一小講堂試合方法は有段者、無段者に別けトーナメント式に行い、參加資格は小名浜居住者又は小名浜に勤務所を持つ者で申込みは中島淸水屋方

▽卓球＝三日午前九時より一小講堂、シングルスダブルス個人戰、申込みは本町柳内弘司氏宛、なお当日は郡下の雄、縣体優勝者杉山(常磐炭礦)國体縣代表吉原(平営林署)縣体ダブルス優勝郡軟式選手權保持者佐藤(常磐炭礦)他十数氏を招いて石城郡選拔選手權大会をも開くことになつている

▽弓道＝二日午前九時より自性院弓場、射放会(会長小野直千賀氏)会員二十五名によつて競われるが、射放會員は三段以上六段の有段者ばかりである、一般申込みは中島齊藤靴店宛

▽庭球＝三日午前九時より一中テニスコート、試合はダブルス個人戰によつて行われる、申込みは役場內厚生課宮島明光氏宛

▽野球＝一、二日に予選を行い三日に決勝を行う、球場は一中校庭、出場チーム、組合わせは二十五日午前六時より公民館に於て開かれる主將会議によつて決定する

▽撓競技＝二日、二小講堂に於て行われる、申込みは松の中宮下武氏宛

なお体育祭の細目プログラム編成は二十七日午後一時より公民館にレクリエーション部の各部長会議を開いて決定する予定

磐炭労スト突入
廿六炭礦の五千余名

常磐、古河、向洋の三炭礦を除く常磐地區炭労系炭礦労務者の十月以降賃金を決める磐炭労と東部鑛連との第八回団体交渉は二十一日午後二時より東部石炭連盟事務所に於いて行われたが、磐炭労側の要求する

①基準外賃金統一
②監視斷續的労働時間承認
③職員給與の改正
④協定期間について
⑤標準作業量の確立
⑥物價上昇に對する手当引上げ

などに對して東部鑛連は全面的に拒否しており兩者の歩みよりは全然見られず、磐炭労では二十二日午後までの期限つきで再考を求めておりその回答によつては二十五日朝六時の一番方より二十六炭礦 五千三百余名が二十四時間ストに入ることになつている

坑內貯炭が自然発火

常磐炭礦労組は十七日より無期限ストを續行しているが全炭礦の內郷礦と鹿島礦の坑内貯炭が十八日から自法發火しているので、全労組では炭労中斗委員に連絡、若林中斗委員長ら數名が十九日來礦して調査した結果、全炭礦の危險区域だけ二日毎に一日出炭を認めることになつた

スクリュー泥を送檢
小名浜地區署

二十三日小名浜地區署では小名浜町生れ無職小野春夫(二三)を窃盗の疑いで平地檢に身柄を送檢した

小野は去る九月二十三日午後十二時半頃小名浜町榮町小名浜内燃機製作所よりスクリュー(重量二十七貫)七万円相当を盗み出し、翌二十四日身柄送検された小名浜町生れ住所不定佐川保(二三)ら三人組の一味であり、この他窃盗一件の容疑にて指名手配中のものであつた

なおもう一人の共犯近藤勇は目下逃走中である

落盤で採炭夫骨折

磐崎村長倉炭礦採炭夫宮澤熊太郎(五九)さんは二十四日午後七時落盤のため足を骨折し全治三ヶ月の重傷を負つた

水素で團体交渉
總評より副議長來組

日本水素小名浜工場労組では一時金及び特殊作業手當の増額要求を会社側に提示した結果、會社側では二十三日午後五時より團体交渉を行う旨の通告をなし慎重な態度を持しているが、一方労組側は二十二日に中央委員会を開き「会社に誠意なし」としてスト態制を整えており目下のところ兩者間の歩みよりは全々ない模様である

なお廿五日開催する勞組の定期大会には總評の太田副議長が應援のために來組することになつており成行きが注目されている

泉消防團で
筒先盗まる

火災期を控えて全國では防火思想の普及と徹底を圖るため全國火災予防週間を実施してきたが、去る十八日泉村消防第二分團では消防器具の点検を行つたところ、手押ポンプ用のホースの筒先及び口金二ヶ七千円相当を盗まれていることが判り、一朝有事の場合には由々しき問題であると善後策を講じている、なお小名浜地区署では届出により犯人を捜査中

オートバイ
崖から轉落

植田町佐糠吉野農機工場雇人西山弘(二〇)さんは二十一日午前七時半ころ全町内でオートバイを運轉中誤つて高さ四米の崖から轉落左足に全治二ヶ月の重傷を負つた

各種印刷の御注文は長瀬

第17回
七福定期

辯天賞	二〇〇・〇〇〇円	いずれか一本
惠比須賞	三〇・〇〇〇	
大黑賞	三・〇〇〇	一〇本
毘沙門賞	三〇〇	一〇〇本
布袋賞	一〇〇	一〇〇本に一本
福祿壽賞	四五	一〇本に一本
壽老神賞	二〇	殘り全部

特賞20万 10千円6ヶ月 總当り

期間10月31日迄
籤抽日 11月9日
皆様の 七十七銀行

明ルい閑静な部屋
家テい的な雰圍氣
成ホごと思し召す
行キ届いた御奉仕
まタ今度は奥様と
御コし下さいませ

コタキホテル

湯本…小名濱間バス 小瀧前下車
電話(小名浜)一〇三番

労災保険指定
外科
内科
性病科
放射線科
石井醫院
小名浜町本町6) 電話472番

最新流行の履物類
在庫品の豊富なこと！
價の安いことは！
お客本位の
西町の ヨドヤ履物店

▷履物専門の店◁
若
専門店会チケット歡迎
若松履物店
湯本町表町 電話?6?番